

2026 年 10 月 7 日

株式会社博報堂 D Y ホールディングス

ソウルドアウト株式会社

AI-BPR 基盤『So Compass（エスオーコンパス）』を本格始動！**生成 AI と AI エージェントでデジタルマーケティング業務を再設計****— 広告運用工数を大幅削減し、中堅・中小企業への提案力とコンサルティング品質を向上 —**

博報堂 D Y グループのソウルドアウト株式会社（本社：東京都文京区、代表取締役社長：北川共史、以下 ソウルドアウト）は、デジタルマーケティングにおける業務フローを最新の生成 AI および AI エージェント活用前提で見直し、標準化・再設計・実装までを一貫して行う独自の AI-BPR（Business Process Re-engineering）基盤『So Compass（エスオーコンパス）』の実運用を本格開始いたしました。

本取り組みは、デジタルマーケティングにおける定型・分析作業に先進の AI テクノロジーを組み込むことで業務プロセスを高度に標準化し、運用担当者が顧客に向き合う「戦略立案」「仮説構築」「深い顧客伴走」といった高付加価値業務に集中できる環境を実現する仕組みです。

**■AI を前提とした「仕組み化」の背景**

デジタルマーケティング領域において生成 AI が実用水準に達したことを受け、ソウルドアウトでは単なる作業の自動化にとどまらず、現場の業務フローそのものを“AI 前提”で抜本的に再設計するプロジェクトを推進してまいりました。

従来の広告運用現場では、複雑なデータ集計や手作業による確認工程、ノウハウの属人化が課題となっていま

した。これらを解決するため、現場の知見と最新の AI 技術を結集した独自の AI-BPR 基盤『So Compass』を自社で構築しました。運用担当者全員が AI を強力な相棒として使いこなすことで、支援品質の底上げと組織全体の生産性向上を同時に追求してまいります。

■『So Compass』への想い

『So Compass』の「So」はソウルドアウト、「Compass」は羅針盤を意味します。当初は広告運用に限った名称も検討しましたが、将来はクリエイティブや戦略設計へと広げていく構想から、特定の領域に閉じない名前を選びました。AI が業務の進路を整え、人は顧客の事業成長という目的地に向けて伴走する。そんな、顧客と私たちの羅針盤でありたいという想いを込めています。

■『So Compass』の特徴と主要 4 領域における取り組み

データ収集・蓄積から AI エージェントによる処理、アウトプットの生成までを一気通貫で連携させた基盤です。日常的なコミュニケーションツールを窓口として対話を行い、広告運用の主要工程における作業工数の大幅削減と品質向上を実現します。

（１）入稿・配信設定：指示入力からの自動生成による標準化（作成時間の約 6 割削減を見込む）
事前登録された案件ルールや素材を参照し、媒体ごとの複雑な命名規則や仕様を適用した入稿用データを AI が自動構築。手作業による入力の手戻りや目視点検の負担を劇的に削減します。

（２）要因分析・レポート：データ統合と対話による考察・資料化の一本化（資料化工数の約 6～7 割削減を見込む）
広告成果の数値データに加え、過去の定性的な運用ログを AI が自律的に解析。数値変動の背景や対策候補を AI が提示し、チャット上での対話を通じて高品質な定例会資料（HTML 形式）をスピーディに作成します。

（３）進捗・予算管理：自動化ツールの標準導入と全社ルール策定（管理工数の約 50%削減を見込む）
全社共通のデータマスタと運用自動化ツールを連携させ、予算・進捗管理業務を大幅に効率化。管理基準の統一と異常値のアラート検知により、運用の安定性とリスク管理を両立します。

（４）品質・安全管理：機械的チェックと人の目視を掛け合わせたハイブリッド体制
定義されたチェックルールに基づき、ツールが設定内容を機械的に自動点検。コンサルタントの目視確認と組み合わせることで、属人的な確認漏れを防ぎ、高い安全性とチェック品質を安定して担保します。



So Compassの特徴と4つの取り組み

— AI 前提で広告運用業務を再設計 —



■今後の展望

ソールドアウトが目指すのは、AI による業務の標準化と、顧客を深く理解した「人」による伴走を両立させる支援の形です。『So Compass』で生み出した時間を、顧客との対話や提案の質の向上に再投資し、全国の中堅・中小企業の事業成長に、これまで以上に深く寄り添ってまいります。また、本取り組みは、博報堂D Yグループの横断的な AI 専門家集団「HCAI Professionals」の活動の一環としても推進してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

ha ソールドアウト株式会社 広報担当 pr@ml.sold-out.co.jp

株式会社博報堂D Yホールディングス グループ広報・IR室 koho.mail@hakuhodo.co.jp